

院長就任のご挨拶



このたび私、本年4月1日をもって、院長に就任いたしました。誠に微力ではありますが、職員の皆様のご協力を得て、今後も、市民病院の更なる発展と、より市民の皆様のお役に立つ病院になるように、職員一丸となり努力してゆきたいと考えております。

病院の運営

地域の中核病院として質の高い医療を提供し、二次救急医療を十分に行い、地域の皆さんの期待に応えたいと考えております。当院のみで孤立してこれを行なうのではなく、近隣の病院と機能分担を行いそれぞれの病院の特殊性を尊重し、また、地域の開業医の先生方と手を携えて、一緒に協力しやっていきたいと思っております。

良いスタッフを集めること、また、スタッフの研修にも力を入れ、優れた診療体制を築いていきたいと考えております。

患者様中心の医療

地域の人たちにやさしく、いつでも安心して医療を受けられる病院をめざしています。患者さん中心の医療、地域住民の皆さんの健康を守るため疾病の予防・検診などの保健サービスと福祉についても積極的に支援する方針です。患者さんにやさしく、疾患・治療方針など十分なわかりやすい説明をするように心がけております。

最新鋭の医療機器による最高水準の医療の提供

今年度予算でMRIを新しい機器に替えることになりました。これにより短い検査時間でより鮮明な画像が得られ診断におおいに役立つと思っております。また、それに伴い懸案であった脳ドックも始めることができると思っております。

コンピューターシステムを導入し、迅速な診療体制

この10年間の間に院内のコンピューターシステムは非常に充実し迅速な診療体制を実現するようにつとめてきましたが、さらに待ち時間を少なくする工夫をし、データがすぐに医師の手元に届くようにシステムを改良していきます。

救急医療体制の実現

24時間安心して受診することの出来る二次救急医療を提供する。救急患者を全て受け入れるよう努力することを病院の基本方針としています。

情報の開示

現在の病院の紹介や内情などを出来るだけこのようなニュース通信やインターネットなどで公表し、市民の皆様を理解していただき、病院の選択の手助けになるよう病院のいろいろなデータの開示などにも取り組んでいきたいと計画しています。

患者様に望むこと

先にも述べましたように病院にはそれぞれ役割、機能分担があります。特殊な疾患を除いて大きな病院にいつまでも入院・通院する必要は必ずしもありません。主治医の指示に従って紹介された先生の元に戻ることも必要な場合があります。どうか皆様の暖かいご助言、ご支援を御願いいたします。また、病院に対するご意見・ご希望もご連絡下されば幸いです。

(院長 山田博是)



薬剤部より

病院を帰るときに薬をもらいますよね。その奥の隠れた所に薬剤部はあるのです。薬剤部の仕事ってあまりピンとこないのではないのでしょうか。ただ薬を作って出しているだけだと思われがちです。でも皆様が薬を手にするまでに、薬剤部で何重ものチェックを行なっています。まず、医師の処方を確認したり、量は適切かをチェックします。また処方された薬同士の相性が悪くないかもチェックします。そして細心の注意を払って調剤しています。皆様が薬を受け取られましたらぜひチェックにご参加ください。

またその他の薬剤部の仕事として、薬剤師が糖尿病教室、腎臓病教室で薬に関する話をしています。子供の薬の飲ませ方やスポイトなどもお分けしています。その他色々あります。とにかく薬についての疑問は何でも窓口で気軽に声をかけてください。

いつでもお待ちしております。



臨床検査科より

検査室では、患者さんから採取した血液、尿、痰や便などを検体として、その検査数値を測定し、医師が診断する際の重要な情報を提供しております。最近、検査機器もその殆どが機械化、自動化されて、迅速にかつ正確な検査結果を報告できるようになっています。また、検査室では患者さん自体を検査する生理検査も行っております。心電図検査や肺機能の検査など患者さんに一時的に検査機器を取り付けさせていただき、検査します。これらの検査も数値や波形、グラフなどで報告され、医師の診断に活用されています。



放射線科より

放射線科の仕事って何でしょうか。皆様がよく見られるのは健康診断などで、「はい、息を吸って！」で見かけるレントゲン装置を思い出しませんか。確かにそれも放射線科の仕事の一部ですが、それ以外にも仕事はたくさんあります。最新の診断機械であるCTとかMRIなどの名前を聞いたことはありませんか。当院にはもちろんその両者ともあります。特に今年は新しいMRIが入る予定であり、今後はさらに確実な診断ができるようになります。当院で診断用に導入されている装置は、一般撮影装置3台、断層撮影装置1台、乳房撮影装置1台、パノラマ撮影装置1台、X線TV装置1台、デジタルX線装置1台、血管連続撮影装置1台、シンチカメラ1台、X線CT装置2台、MRI診断装置1台、ポータブル撮影装置3台、外科用イメージ1台、超音波診断装置2台です。これらの装置を放射線技師11名で迅速に対応しております。皆様の病気の原因を確実につきとめるために、我々は日夜がんばっています。



《 発刊にあたって 》

今回、稲沢市民病院ニュースを発刊する運びになりました。このニュースによって患者様に当院をよく知ってもらうのがねらいです。当院各部門の仕事内容や案内、そして院内のちょっとしたニュースをお届けします。初めてなので、内容的には改善の余地があると思いますが、今後とも皆様の声を基に素晴らしいものにしていきたいと思っております。色々な意見をよろしく願いいたします。

(広報委員会)

稲沢市民病院 診療担当医師一覧表

平成14年7月1日現在

診療科名	時間区分	診察区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	備考
内科	午前	1 診	寺澤 <消化器>	奥山名誉院長 <内分泌>	黒川副院長 <消化器>	奥山名誉院長 <内分泌>	榭永 <内分泌>	
		2 診	福井 <循環器>	黒川副院長 <消化器>	福井 <循環器>	糟谷 <内分泌>	福井 <循環器>	
		3 診	山田(克) <内分泌>	斉藤 <消化器>	山田(克) <内分泌>	山田(克) <内分泌>	長尾 <呼吸器>	
		5 診	生駒 <循環器>	宮川 <腎>	宮川 <腎>	生駒 <循環器>	宮川 <腎>	
		6 診	佐藤 <内分泌>	荒尾 <消化器>	鶴飼 <消化器>	荒尾 <消化器>	広瀬 <循環器>	
		7 診フリ	服部 <消化器>	糟谷 <内分泌>	生駒 <循環器>	斉藤 <消化器>	寺澤 <消化器>	
		8 診フリ	黒川副院長 <消化器>	山本 <腎>	市川 <内分泌>	馬場 <腎>	鶴飼 <消化器>	
		午後(予約制)	寺澤<消化器> 斉藤<消化器> 糟谷<内分泌> 宮川<腎>	福井<循環器> 広瀬<循環器> 桐山<内分泌> 篠田<内分泌> 蟹江<血液>	黒川<消化器> 荒尾<消化器> 寺澤<消化器> 佐藤<内分泌> 宮川<腎> 馬場<腎>	服部<消化器> 桐山<内分泌> 市川<内分泌> (白木<腎>) 吉田<神経>	生駒<循環器> 山田克<内分泌・血液> 山本<腎>	
小児科	午前	1 診	柳瀬	城所	柳瀬	藤巻	柳瀬	
		2 診	藤巻				城所	
	午後(予約制)	予防接種	柳瀬・藤巻 <慢性外来>	1か月健診	柳瀬・城所 <慢性外来>	乳幼児健診 (第1週以外) <心臓外来> <神経外来>	(第1週) (第1、3、5週)	
外科	午前	1 診	生田	宮本	生田	秋山	宮本	
		2 診	小野	住田	小児外科	小野	住田	
脳神経外科	午前	1 診	山田院長	岩越	山田院長	丹羽	丹羽	
		2 診			岩越			
泌尿器科	午前		傍島	森川	傍島	加藤	傍島	
	午後		傍島	——	——	加藤	——	
整形外科	午前	1 診	橘	今村	橘	今村	加納	
		2 診	今村	加納	小口	加納	橘	
	午後(予約制)	——	——	小口<リウマチ>	——	——		
皮膚科	午前	1 診	正木	正木	正木	正木	正木	
		2 診	横田	横田	横田	横田	横田	
	午後	2:00 ~ 4:00	横田	——	正木	——	富田(第1金:予約制)	
産婦人科	午前	婦人科	清野	井上	片山	片山	井上	
		産科	井上	片山	清野	井上	清野	
眼科	午前	1 診	池間	池間	池間	池間	池間	
		2 診	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	
	午後(予約制)	——	——	——	池間<網膜>	——		
耳鼻咽喉科	午前	初診・フリ診	柘植	加地	佐藤	柘植	八木	
		予約診	八木	柘植	八木	八木	柘植	
	午後(予約制)	予約学生診(3時~)	柳田(1時~)	——	柳田(1時~)	——		
10 歯科・口腔外科	午前	初診	石井	日下	日下	加藤	石井	
		再診	日下	石井	石井	日下	加藤	

救急医療の案内

市民病院では、時間外の救急医療を行っております。
ただし、時間外は内科系と外科系の医師にて対応しておりますが、
当番制にて対応し専門医ではありませんので、ご了承ください。



稲沢市民病院

(名鉄国府宮駅下車
徒歩5分)

稲沢市民病院ニュース創刊号(第1号)

発行日 平成14年7月1日発行
発行元 稲沢市民病院 広報委員会
492-8510 稲沢市御供所町1-1

ご意見をお待ちしています

電話 0587(32)2111
ファックス 0587(32)2151
電子メール hospital@city.inazawa.aichi.jp